

# 幼年教育専修

誕生から、乳幼児、児童期にわたる子どもの発達を見通せる教育(保育)のプロを育てます。

◆ 学びのポイント

## 1 幼稚園教諭に加え、保育士、小学校教諭の免許・資格の取得をめざす

幼稚園・保育所・小学校といった種別を越えて、幼年期の子どもの発達と教育(保育)を長いスパンから捉え支える保育者や教師をめざします。とくに、幼稚園と保育所の一体化施設である認定こども園が増えつつある今日、0歳からの子どもに対応できる力の育成をめざします。



## 2 からだとところを動かし、理論と実践を学ぶ

## 3 学外で実践を深め、地域とつながる

保育者・教師は、自分の思いや知識・技術などを子どもたちに伝える仕事です。そのため、「聞く・見る」といった講義形式の授業だけでなく、「語る・歌う」など、演習・実習形式の授業によって、身体を使って表現し、学びを伝える経験を重ねます。

奈良市内の幼稚園で保育の補助を行う「スクールサポート」、絵本をもって近隣の保育園や小学校に出かけ、子どもたちと絵本をよみあう「出張えほんのひろば」など、学内で学んだことを実践する場が、学外にも開かれています。



◆ 学びの領域

## 子どもを知り、保育のあり方を学ぶ 4つの領域

右図の4つの領域から、就学前期の子どもたちの発達と教育(保育)を総合的に捉え、小学校教育との接続を意識した教育内容を編成する視点を養います。



## 幼年教育専修の授業スケジュール

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	初等教科教育法(社会科)	初等教科教育法(生活)	幼児の造形	教育実習・事前指導		子ども文化論
3・4時限	保育実践指導論	初等教科実践指導		教育実習・事前指導	子どもの保健	
5・6時限		保育内容研究		幼年心理学特講	初等教科教育法(算数)	
7・8時限	障害児保育				幼児と自然	
9・10時限					相談援助	



幼年心理学特講

乳幼児の他者理解などについて、心理学的な学びを深めます。実習でふれあった子どもの姿と重ねあわせて議論し、子どもを理解するための視点を培います。



保育内容研究

保育の歴史と現在についてグループワークや幼稚園観察などを通して理解を深め、私たちがめざすべきこれからの保育のあり方について学びます。



保育実践指導論

乳幼児期の発達と保育について、保育観察や絵本の読みあい、パネルシアターの作成など、実技・演習を通して学びます。

## Student's Voice 在学生の声

### 「子どもの笑顔を支える保育者をめざします」



幼年教育専修3回生  
山田 紗衣さん  
(和歌山県立日高高等学校出身)

幼年教育専修では、乳幼児についての学びや、保育者についての理解を深めることができます。講義において専門性を高めるとともに、子どもたちのふれあいや演習形式の授業を通して、楽しみながら実践力を身に付けられるよう工夫されています。また、保育の現場で働く方々からお話を伺ったり、実際に保育の様子を見たりすることで、保育に関するイメージを損むことができます。

2回生で保育実習、3回生で幼稚園実習を経験するため、経験を豊富に積むことができる点が強みだと思います。また、少人数体制であるため、学生同士や教員との距離が近く、支え合えるよい環境で学べる点も魅力です。子どもについて知りたい、保育者になりたい、そんな方は是非、幼年教育専修と一緒に学びましょう！

### 主な開講科目

幼児と教育/社会福祉論/子どもの食と栄養  
幼児理解(教育(保育)相談を含む)/幼児と言葉/社会的養護内容  
保育内容研究/保育実践指導論/相談援助  
幼年教育総合研究/保育相談支援/保育者論

### 取得できる免許状

・幼稚園教諭一種 ・保育士等(P.8,9/取得できる免許状・資格)のページ参照)

### 卒業後の主な進路

幼稚園・保育所や認定こども園に採用されています。その他、小学校教諭・学童指導員など、幅広い場で活躍しています。いずれも大半が公立機関(公務員)です。

### 教員および専門分野(平成29年5月1日現在)

- ・横山 真貴子教授/保育内容  
乳幼児の萌芽的読み書き能力の発達(絵本・手紙)についての研究
- ・廣瀬 聡弥准教授/幼年教育学  
子どもの遊び、保育者の育ちについての研究
- ・佐川 早季子准教授/幼年心理学  
幼児期の造形表現
- ・篠原 拓也特任講師/児童福祉論  
社会福祉原論を踏まえた児童福祉システムの研究
- ・松原 未季特任講師/教育・保育実習  
幼児が他児の喧嘩やいざごにいかにか介入するの